

## <臨床研究実施のお知らせ>

課題名：「 高齢廃用症候群患者の握力が ADL 能力に及ぼす

影響に関する検討」

1. 研究の目的（試料・情報の利用目的）：リハビリテーション科に入院した過去 10 年間の患者さんの握力が日常生活動作にどのように影響するのかを調べます。
2. 対象となる患者さんについて
  - ① 対象となる患者さんの定義：リハビリテーション科転科時、年齢が 65 歳上で病棟内歩行が自立していなかった患者さんです
  - ② 対象となる患者さんの数：300 例
3. 研究に使用される調査項目・検査項目等について：  
利き手での握力 年齢 機能的自立度評価、運動項目（mFIM）  
当院入院から当科転科までの期間 mini mental state examination(MMSE)
4. 研究期間：承認日 ～ 2023 年 03 月 31 日まで
5. 調査対象期間：2009 年 4 月 1 日 ～ 2018 年 3 月 31 日までの症例（過去 10 年間）
6. 本研究における情報の保管場所と廃棄の方法  
研究のため集積された情報は、解析された後、鍵のついた保管庫で研究終了後 5 年間保管されます。その後シュレッダーにかけられて完全に廃棄されます。
7. 相談窓口： 部署名 リハビリテーション科  
電話番号 049-276-1255
8. 研究責任者：所属機関名 リハビリテーション科  
氏名 倉林 均

☆本研究の調査対象に該当する方で「私に関する情報を研究に使ってほしくない。」とお考えの方は、相談窓口までご相談ください。ご自身以外の代理人からの申し出にも対応致します。